
NaDeC

YEAR

BOOK

2022 **2023**

NaDeC(ナデック)＝「NaDeC構想」は、

長岡市内の4大学1高専(長岡技科大、長岡造形大、長岡大、長岡崇徳大、長岡高専)と、
商工会議所、長岡市が協力し、**次代に対応する人材の育成、産業振興を目指す活動です。**

長岡のまちとともに成長する 大学生たち

長岡市内4大学1高専と商工会議所、市は協力し、人材育成と産業振興の構想「NaDeC（ナデック）構想」（以下NaDeC）実現のため、さまざまな活動を行なっています。
NaDeCに参加した学生はどんな経験をしたのか、話を聞きました。

Q. 4大学1高専の学生に聞きました！ あなたがNaDeCで得たものは？

NaDeC学生日本酒プロジェクト

発酵をテーマにした長岡市のイベント「HAKKOtrip」に出店。長岡市内の酒造や飲食店と協力して日本酒カクテルとおつまみの試作を行い、ペアリング体験ブースを企画。

学外の人に制作物を 見てもらえることが刺激に

長岡市内出身ですが、知らないお酒も多く、新しいまちの魅力を発見できました。電子リーフレット制作を担当しましたが、今まで制作物を学外の人に見てもらうことがあまりなかったのが、「見る人目線」を意識してイベントに関われたことが新鮮でした。

長岡造形大学 造形学部 視覚デザイン学科2年
長谷川 彩華さん

自分の可能性に気づき 挑戦することができた

SNSへの投稿やメニューの制作などに挑戦しました。イベントに参加する一般の方と触れ合うことで、これまで趣味で行ってきた創作活動とは違う新しい自分の可能性に気づき、ビジネスコンテストやボランティア活動など、積極的に他の活動にも参加できました。

長岡工業高等専門学校 物質工学科1年
反町 瑠希さん



NaDeC ポスターデザインコンテスト

NaDeC BASEの認知度を高め、利用促進につなげるためのポスターを、4大学1高専の学生から募集。グランプリの作品は、市内各所、大学で掲示された。

トラブルがあっても立て直す 柔軟に対応する力がついた

NaDeCの広報課題を解決するプロジェクトメンバーとして、2年間の活動で、コンテストを企画し、実施するまでに様々な苦労がありました。しかし、おかげで対応力がつき、作品応募が難航しても、焦らず立て直しました。

長岡工業高等専門学校 機械工学科4年
西村 啓さん

大学の友達からの 反響が嬉しかった

コンテスト企画者として、周りをみて考え判断する場面が多く大変でした。しかし、完成したポスターを見た大学の友達が「NaDeCのこと教えて!」と話しかけてくれて、苦労が報われた達成感がありました。

長岡造形大学 造形学部 美術・工芸学科4年
藤森 ゆうかさん

NaDeC BASE交流会

NaDeC BASEの利用者を中心とした幅広い世代の参加者が、持ち寄った料理を食べながらゆるくつながる交流会。

交流会を通して人とのつながりを 広げることができた

初対面の方とつながれたり、知っていてもなかなか会えなくてお話できない方と交流できたりするのがとても楽しく、そして、人とのつながりが広がってくのを肌で感じることができるので嬉しいです。素敵な機会をいただいて感謝しています！

長岡工業高等専門学校 物質工学科1年
井塚 杏奈さん

自分の居場所となる 愛着があるイベント

学生から社会人の方まで幅広い世代の方々と出会えて、毎回、密な関係が築けています！NaDeCスタッフのみなさんの和やかな雰囲気のおかげで、他愛もない会話ができて、参加するほど愛着が深くなっていき、今では自分の居場所になっています。

長岡技術科学大学 環境社会基盤工学課程3年
原 祥汰さん



学生委員

4大学1高専、各校2名計10名の学生が月1回のミーティングでイベント等を企画し、準備、運営も行っている。

忙しい中での挑戦 看護の視点にも生かしたい

授業の合間を縫って、月1回のMTGは必ず参加しました。他大学の学生や、社会人の方の捉え方や視点は新鮮で、視野が広がりました。将来の看護職でも活かしたいです。忙しい中でしたが、学生委員に挑戦してみてよかった！

長岡崇徳大学 看護学科3年
山田 萌加さん

仲間と話せば よりよい企画が生まれる

学生委員の活動に参加して、自分の考えや意見を持ち、周りに発信することの大切さを学びました。自分の考えを周りと話し合うことで、新たなアイデアや企画を生み出すことができたのが楽しく、良い経験になりました。

長岡大学 経済経営学科(2022年卒業)
黒柳 恵理さん

じよぶじよぶなでつく

働く大人と話す機会が少ない学生と市内企業の社会人のための交流会。お酒やおつまみを食べながらお互いの価値観を知り、卒業後のキャリア等を相談するきっかけとなる。

楽しみながら 新しい発見や学びを得られる

企業と学生がフラットにつながれるような明るい雰囲気意識し、自分自身も楽しみながら会をサポートしました。参加者それぞれが持つキャラクターから、会話のつくり方やイベントの楽しみ方に違いがあることに気づき、コミュニケーションについて学べる良い機会になりました。

長岡技術科学大学 大学院
技術科学イノベーション専攻2年
(5年一貫制博士課程2年目)
永井 麻実さん

企業と学生を フラットにつなげる楽しさ

イベント中の進行や参加者同士の会話のフォローを担当し、学生と企業の方に年齢や立場を超えて交流してもらうことができました。参加者の皆さんがお酒や食事、会話を楽しむ姿を見て、イベントをやったよかったなど、運営の楽しさを感じました。

長岡技術科学大学 大学院
技術科学イノベーション専攻2年
(5年一貫制博士課程2年目)
穂積 将輝さん



Project NaDeCの活動

2018年(平成30年)の「NaDeC構想推進コンソーシアム」の設立以来、
30以上のプロジェクトが実施され、現在も10以上が進行中です。



NaDeCトークライブ 「私の推しになってください!」

「学校生活だけでは出会えない人の話を聞きたい」という学生の声から、長岡の面白い大人と学生のキョリを縮めるためのトークライブを2021年から行っています。NaDeCの学生であれば誰でも参加OK! 会場またはInstagramのライブ配信からも、気軽に参加できます。毎回ゲスト(通称・推し様)が、学生向けに生い立ちや経験などをユーモアたっぷりに話します。また、トーク終了後は、推し様と参加者が自由に話せる場を設け、推し様と参加者のみでなく、参加学生同士の交流を持てるようにし、イベントを通じた新たな交流が生まれています。



ロボット操縦体験会

長岡技科大の学生を中心に組織するロボット団体「Phoenix Robots」と「Robopro長岡」との共同開催で、小学生・中学生向けの操縦体験会を2022年10月に実施しました。学生からの「未来のエンジニア育成のきっかけとしてロボットに興味を持ってもらえる機会を作りたい」という思いを受けて企画しました。当日は18人の子どもたちが訪れ、「Phoenix Robots」の戦車型ロボットや「Robopro長岡」のスポンジを掴んで積み上げるロボット、NaDeC BASEにあるCOBOTTA(ロボットアーム)のプログラミング体験を行い、多種多様なロボットに触れるイベントとなりました。体験した小学生や保護者から「ロボットを操縦できて楽しかった」「長岡

で幼い頃からロボットに触れる機会があって良かった」との声が聞かれました。学生メンバーからも「普段の活動を知ってもらう場ができて嬉しい」といった感想があり、今後も学生の活動を後押ししていきます。



栃尾の地域ブランディング事業

長岡大・石川ゼミナールは、交流人口と滞留人口の増加による栃尾地区活性化を目指して活動しています。地域資源PRとにぎわい創出を通じた地域ブランディング事業として、①トチオノアカリ糸繰りランプの商品化と展示、②トチオノアカリ本イベントでのフード販売、③雁木通りスタンプラリー開催、④雁木通りギャラリーでの錦鯉と糸繰りランプのインスタレーション展示会、の4つに主に取り組みしました。①②は、毎年2万人が訪れる「トチオノアカリ」の活性化と新たなビジネスモデル提案、さらに山古志錦鯉との協創による新たな価値創造を目指しました。実現に向け、トチオノアカリ協議会、長岡市錦鯉養殖組合、栃尾商工会、栃尾高校、栃尾地区の商店街など、多くの地域団体と連携

しました。特に①では、長岡技科大の大学院生から技術指導を受けた試作品を展示し、2日間で1790人が来場しにぎわい創出に寄与しました。



パパママサークル

長岡崇徳大では「母子・家族・支援者が共にあゆむ周産期母子のメンタルヘルスに関する支援事業」を立ち上げました。新潟県の2020年度大学魅力向上支援事業に採択され、市町村や地域団体と連携した取り組みを継続して行っています。活動の一つとして、長岡市子ども・子育て課と連携し、毎月1回ご夫婦を大学に受け入れ、助産師・看護師資格を持つ教員と学生ボランティアによる「パパママサークル」を実施しています。2022

年4月から12月までに25組(50名)の参加があり、参加者からは「病院では両親学級が行われず心配していた中で参加でき、非常にためになった」との声が多く聞かれています。長岡崇徳大生も「学生サポーター養成講座修了生」を中心にボランティア参加しており、新米パパ・ママとのコミュニケーションを図るなど、多くの学びを得ています。



学生ボランティア参加者の声

妊娠中は楽しみな反面、不安が大きいというアンビバレンスな状態にあり、それでも母親父親の役割を全うしようと懸命に学んでいきたいという強い思いを感じた。学生ボランティア参加は、楽しくパパ・ママの気持ちを直接聞くことができる素晴らしい機会だった。
(長岡崇徳大学看護学部2年 小林 通さん・小林 堇玲さん)



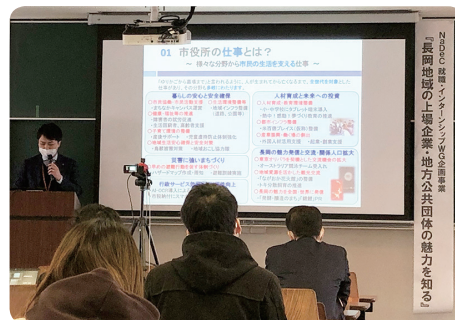


就職支援

NaDeC就活イベント 「長岡地域における企業・団体の魅力を知る」

4大学1高専で学んでいる学生は例年約5,000人。2019年開学の長岡崇徳大を除く、3大学1高専から毎年約1,300人が卒業しますが、就職者のうち長岡市内の企業や団体に就職しているのは、例年60~70人と約4%しかいないのが現状です。そこで、NaDeC就職・インターンシップワーキンググループでは、長岡で学ぶ学生と地元企業の接点を作るために、2020年度に「長岡地域の上場企業・地方公共団体の魅力を知る」、2021年度に「長岡地域における企業・団体の魅力を知る」と題し、長岡の企業の魅力を知ってもらイベントを開催しました。2020年度は感染症対策を徹底しながら対面式で63名が参加し、2021年度はオンラインのみの実施で700回近い視聴があり、学生の関心も高まっています。

4大学1高専の学生は、それぞれ異なる分野を学んでいるため、将来の就職先となる企業も多種多様ですが、このようなイベントを通じて、将来の職業選択において長岡市の企業が選ばれるように学生と企業の接点づくりを続けています。



起業支援

ファーストペンギンプログラム

起業・創業の支援事業として、NaDeCでは「ファーストペンギンプログラム」を展開しています。群れを成して集団で行動するペンギンですが、その中でも天敵が潜む海に餌を求めて最初に飛び込む勇敢なペンギン(=ファーストペンギン)のように、ベンチャー精神を持ち、リスクを恐れずに果敢に挑戦する起業家を支援するために本プログラムが誕生しました。

事業構想につながる社会・企業の課題解決に取り組む機会の提供から、企業として成長するためのメンタリングまで段階的に一貫した支援を行っています。各種セミナーやビジネスプランコンテストの開催、起業を目指す学生への個別コーチング、

学生起業家育成補助金など取り組みは多岐にわたります。



起業支援

リーンローンチパッドプログラム

新規事業の効率的な立ち上げ方を学ぶシリコンバレー流の事業化プログラム「リーンローンチパッドプログラム」を2019年度から実施しています。3カ月間をかけて、「デザイン思考」による事業アイデア発想を学びながら、仮説検証を繰り返しビジネスモデルのブラッシュアップを図っていく実践的なプログラムです。最終回

のビジネスプラン発表会「DEMODOAY」では、起業家などコメンテーターのアドバイスや審査員の講評を受け、最優秀賞を決定します。2022年度は、7チーム21名(学生19名、社会人2名)がハイレベルなビジネスプランを展開しました。これまでの参加者から4名が起業を実現しており、今後も内容を発展させ実施していきます。



参加者の声

リーンローンチパッドプログラムでは、事業組み立ての基本的な考え方を学びました。これを機会に起業しましたが、途中で悩んだとき、ここで学んだことに立ち返ることが多かったです。困ったときの拠りどころがあるのは、とてもありがたかったと感じています。また、このプログラムを通して知り合った方に、起業後にお世話になることがたくさんありました。人的ネットワークを持てたことも大きな魅力だと思います。

(株式会社雷神 代表取締役 細木 真歩さん)

JSCOOP

長岡高専では、オープンイノベーションで社会課題を解決できる人材の育成を目的として、学科、学年横断でそれぞれの専門的知識を融合する、課題解決型学習 JSCOOP（ジェイスクープ）を2015年度からスタートしました。

2019年度は長岡技科大、長岡造形大、長岡大が、2020年度は長岡技科大が参画し、各大学の講義を提供するほか、長岡高専の学生と各大学の学生が混合チームを組み、課題解決に取り組んでいます。長岡高専技術協力会の会員企業から、学生が取り組む、課題の提供を受けるとともに、学生による企業訪問取材への対応のほか、解決案のレビューでは技術者から実務レベルでのアドバイスをもらうなど多くのサポートを受けています。

学生に与えられるミッションは2つ。取材先企

業のPR記事の作成と、取材先企業が抱える課題の解決です。参加した学生からは、「伝えたいことを、簡潔に分かりやすくどのように伝えるか試行錯誤したことが、社会人になっても活かしている」と、このプロジェクトが専門分野を超えた幅広い学びの機会になっているようです。



学学連携

ミミズを活用した新しいライフスタイルの提案と実装

長岡造形大と長岡高専が連携した授業連携プロジェクト。既存のプロダクトや仕組みを捉え直すことにより、SDGsへの貢献やイノベーションを創出できる起業家マインドを育成することを目的に行われています。

2022年度は、持続可能性社会の構築をキーワードに、「ミミズタンパク質普及方法の提案と実装」と「ミミズコンポストがある新しいライフスタイルの提案と実装」を題材に実施されました。全6回の授業では、SDGsと全体概要（長岡高専・赤澤真一先生）、人間中心の視点から潜在ニーズや問題を見つけ出し、その解決を目指すデザイン思考（長岡造形大・板垣順平先生）や、アイデアの検証や評価を通じて実装を目指すプロトタイプ（長岡造形大・森本康平先生）のアプローチのほか、リーンキャンパスによる事業プランの

洗練方法（KDDI株式会社・全詠九氏）、経営に役立つ金融リテラシー（三井住友海上火災保険／証券アナリスト・大平弘氏）などを学びました。長岡造形大8名、長岡高専9名の学生が混成チームを組み、デザイン思考とテクノロジーを活用しながら、既存の概念を払拭したプロダクトやサービスの提案を行いました。



学学連携

マッチングハブ

長岡発の「産学官金」連携マッチングイベントとして、マッチングハブ長岡を初開催しました。2022年10月23日（日）と24日（月）の2日間で、1日目は長岡市内の大学・高専生52人が参加したビジネスアイデアコンテストを、2日目は技術シーズとニーズのマッチングを促す展示会を開催。アイデアコンテストは「M-BIP（エムビップ：Matching HUB Business Idea Plan Competition）」と「長岡未来デザインコンテスト」の2本立てで行われました。

M-BIPでは、リーンローンチパッドプログラム（P7参照）、起業家塾、長岡造形大と長岡高専の合同授業（P8参照）から生まれたビジネスアイデアプランについて、7チームが発表。デザインコンテストでは、楽天グループ（株）及び県内企業が講師として参画する「アントレプレナーシップサマープログラム」に参加した学生10チームが、「10年後、長岡が日本一“〇〇な人”が集まる街になるためのアイデアを考える」をテーマにプレゼンテーションをしました。

展示会は、市内外の大学・高専、企業、団体など

94チームから101ブースの出展があり、出展者によるプレゼン会のほか、（株）土屋合成の特別講演、長岡技科大の産学連携を通じた人材育成の事例紹介を行いました。

また、特徴的な試みとして地元企業のお困りごと（技術相談）に大学・高専の教員が応じる「お困りごとの祭典」を実施しました。参加企業10社の課題について、47人の教員が真剣に解決策を検討していました。

アンケートでは出展者の約6割から「今後の連携につながる相談や商談があった」と回答がありました。



学生の力を
社会に生かそう！

たくさんの人と協力して
社会課題に取り組んでいます



Project Topics



長岡技術科学大学が、 JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)に採択

長岡技科大は、「“コメどころ”新潟地域共創による資源完全循環型バイオコミュニティ拠点」として、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の、共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)に採択されました(2022年)。本プログラムでは、地域の宝である「田んぼ」を守り続けることを大きなテーマに、最新のバイオ技術やデジタル技術を活用した研究開発を行います。長岡技科大を中心に、農家、企業、国や県の研究機関、自治体が共創しながらプロジェクトを進めていきます。



日本オープンイノベーション大賞 内閣総理大臣賞を受賞しました！

長岡高専が、国際協力機構JICA、NPO法人長岡産業活性化協会NAZE、長岡技科大、デロイトトーマツと取り組んだ、「JICA高専オープンイノベーションチャレンジ」が、内閣府などの省庁や関係団体が主催する「第5回日本オープンイノベーション大賞」の最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。この取り組みは、高専生の技術とアイデアでアフリカの社会課題解決を目指すもので、グローバルな社会課題に対する、地域を挙げた産学連携の取り組みが評価されたものです。



About

NaDeC構想について

Mission Statement

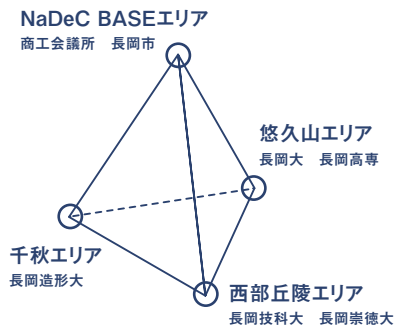
異分野の仲間と出会い、 問いを立て、挑戦できる場

NaDeCの名称は、長岡(Nagaoka)の中心市街地と4大学1高専の位置を線で結ぶと三角すい(Delta Cone)の形になることから、その頭文字をとって名付けられました。

「技術科学、デザイン、経済・経営、看護」の要素を持つ学生の自由な発想と、長岡の企業が持つ幅広い分野の経営資源を融合し、新たな産業をおこし、次代に対応する人材の育成を目指すのがNaDeC構想です。

「人材育成」「産業創出」「交流・協働」の3つの柱のものと行われる、「学生連携」「地域貢献」「就職支援」「起業支援」「学学連携」「SDGs産学連携」の6つの活動を通して、異分野の仲間とともに挑戦する学生や学生起業家が生まれています。

今後も、市内外の団体と協力しながら、学生が学びを深め、挑戦できる場を提供することで、構想の実現に向けて活動を続けていきます。



Nagaoka Delta Cone

人材育成

産業創出

交流・協働



NaDeCの3本の柱と6つの活動

NaDeC構想推進コンソーシアム

沿革

- 2018年(平成30年) 4月 構想実現のため「NaDeC構想推進コンソーシアム」設立(長岡技科大、長岡造形大、長岡大、長岡高専、商工会議所、市)
- 2018年(平成30年) 6月 NaDeC BASE開設(旧大和長岡店跡地)
- 2019年(令和元年) 4月 長岡崇徳大加入
- 2020年(令和2年) 9月 NaDeC BASE移転(ながおか市民センター内)

※NaDeC BASEは2023年(令和5年)夏に「米百俵プレイス ミライエ長岡」に移転の予定です。

事務局

長岡市商工部産業イノベーション課 TEL:0258-39-2402

構成団体

- 長岡技術科学大学
- 長岡造形大学
- 長岡大学
- 長岡崇徳大学
- 長岡工業高等専門学校
- 長岡商工会議所
- 長岡市

長岡で学ぶみなさんへ

NaDeC構想推進コンソーシアムを構成する7団体と、NaDeCの活動に賛同くださる、
経済産業省関東経済産業局、JICAから激励の言葉をいただきました。

長岡技術科学大学
学長

鎌土 重晴



長岡市には、4大学1高専を中心にバックグラウンドの異なる多様な人材が県内外をはじめ、海外からも集まっています。NaDeCの活動を通し、長岡で学ぶ皆さんが自分の大学・高専の枠を超えて積極的に交流し、それぞれが持つ知識や技術等を合わせることで、異なる視点に触れ、新たな発想でアプローチすることで、地域が抱える課題の解決など、イノベーションの創出につながることが期待されます。本学は、VOS (Vitality (活力)、Originality (独創力)、Services (世のための奉仕))の精神を開学以来のモットーとして掲げ、起業を目指す意欲ある学生の支援等に力を入れています。NaDeCでの取り組みに多くのみなさんが参加し、共に活動できることを楽しみにしています。本学は、新たな取り組みに積極的に挑戦するみなさんを応援します。

長岡大学 学長

村山 光博



長岡大学は経済経営系の大学としてNaDeCに参加していますが、NaDeCでは各大学・高専の専門分野の枠を超えた連携が可能です。2023年からは、街中に新しくオープンする「米百俵プレイス ミライエ長岡」が、このNaDeCの拠点になります。ここには市内の4大学1高専だけでなく、産業界からも多くの方が集まることが期待されています。長岡で学ぶみなさんも、ここに集う多様な人々との出会いを通して、自分自身の将来の可能性を広げてみませんか。また、若いみなさんには、色々なことへの挑戦もおすすめします。何かに挑戦して、たとえ失敗したとしても、その失敗は必ずみなさんを成長させてくれます。勇気を出して、一步前へ踏み出してみましょう。

長岡造形大学
学長

馬場 省吾



NaDeCは長岡市、商工会議所、4大学1高専の多様な人たちが集まる場。学生のみなさんは在籍校で学ぶことはもちろん、NaDeCで多様な分野の人たちと出会い、社会とのつながりを積極的に作って欲しいと考えます。テクノロジー、経済、看護、デザインなど、異分野の学生のみなさんと関わることでしか生まれない発想があり、また行政や地域社会で普段学んでいることを実践するチャンスでもあります。造形大の専門分野であるデザインの世界は今や領域を超えた結びつきによる協創が必須となっています。単にモノを作るだけでなく、問題の発見や新しい提案をすることが求められ、デザイナーの活躍の場もさらに広がっています。造形大生にとってもNaDeCはそうしたデザインの役割を活かせる場でもあります。失敗を恐れず、人と社会ともしっかりつながるデザインの実践を期待します。

長岡崇徳大学 学長

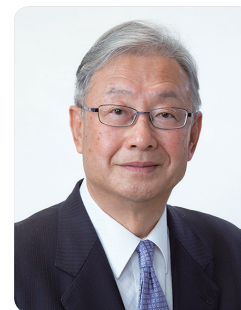
森 啓



長岡で学ぶみなさんに、長岡崇徳大学からNaDeCの新しいメンバーとして一言ご挨拶申し上げます。文系、芸術系、工学技術系からなるNaDeCに新しく我々看護学部を持つ医療系が加わりました。私達は人の心と体について医療と福祉の教育、研究をしておりますので、NaDeC活動にも新風をもたらしたいと意気込んでおります。NaDeCメンバーは、お互いに単位互換制度もあり、さらに人的交流も推奨されているところですが、なにより長岡市を中心としてより広く、より大きく市民のニーズに応えられるような活動になれば幸いです。当地長岡で、米百俵精神の承継の場を自負する我々教育機関のなすべきことは何か、明日の長岡に必要なものは何かを絶えず希求し続ける事が大切ではないでしょうか。地元中越、そして新潟の知恵袋として住民、行政と共に手を携えて前進していきたいと考えております。

長岡商工会議所
会頭

大原 興人



長岡の鉄工業は、明治時代の東山油田発掘に必要とされた削井機械をはじめとする機械の製造により近代化がなされ、「ものづくり集積地長岡」として基幹産業に発展してきました。長岡商工会議所では、これまで培われてきた地域のものづくり技術を活かして、今後成長産業として期待されるロボット分野やDXへの取り組みを、産学連携で進めて行きたいと考えています。NaDeC BASEは、4大学1高専の学生をはじめ多くの人々が集うことでみなさんの成長を支えるものと期待しています。学生時代の出会いはその後の人生の礎となります。NaDeCに参加することで、今までにない新たな出会いがあるでしょう。長岡の地で多くの刺激を受け、充実した学生生活を過ごしてください。

長岡工業
高等専門学校 校長

小林 幸夫



Harvard Business School の Clayton M. Christensen 達が著した『イノベーションのDNA』という本に、イノベーションを生み出していくには「5つの基本的なスキル」が必要と書かれています。5つの基本的なスキルは「質問力」「観察力」「ネットワーク力」「実験力」「関連づけて思考する力」です。NaDeC構想で分野の異なる4大学1高専の学生が集まれば、まずネットワークが生まれ、互いに質問し、場合によっては何かを観察し、実験し得られた事象を関連づけて思考することになるでしょう。この著書には、また、「イノベーションに取り組む勇気」を持っているということも重要と述べられています。長岡の学生の皆さん、勇気をもってNaDeCに参加し、イノベーションを起こしてください。期待しています。

長岡市長

磯田 達伸



この50年間で技術革新のスピードが格段に上がり、長期化する新型コロナウィルス禍による社会の大きな変化も加わり、テクノロジー・サイエンス・エコノミー・デザイン・プログラミングなど、さまざまな分野を学ぶことが、将来の選択肢の幅を広げるものと感じています。若いみなさんが、この時代を積極的に楽しみ、思い描く未来を実現していくためには、異質なモノを掛け合わせ、新たなシステムや価値、そしてビジネスを生み出す挑戦をすることが重要だと思います。長岡市は、NaDeC BASEを拠点として、4大学1高専の学生や教員、企業家たちと、世界中から集まるクリエイティブ人材との交流やコラボレーションが、みなさんの世界を広げ、豊かな未来につながることを応援しております。

長岡市4大学1高専 学術マップ

機械系	電気・電子系	化学(物質)系	環境系	生物系	看護系	IT・情報系	デザイン系
長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(機械工学分野)】 機械情報・制御工学/設計・生産工学/ 熱・流体工学/材料システム工学/ 創未来テクノロジー	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(電気電子情報 工学分野)】 電気エネルギー・制御工学/ 電子デバイス・光波制御工学	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(物質生物工学 分野)】 資源活用工学/材料創成工学/ 生体環境工学	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(環境社会基盤 工学分野)】 社会基盤デザイン/社会基盤マネ ジメント/防災システム/環境マネ ジメント	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(物質生物工学 分野)】 資源活用工学/材料創成工学/生体 環境工学	長岡崇徳大学 看護学部 【看護学科】 基礎看護学/地域在宅・公衆衛生看 護学/成人看護学/老年看護学/小 児看護学/母性看護学/精神看護学 /災害看護学 ※保健師教育課程(選抜制)	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(電気電子情報 工学分野)】 情報通信制御工学	長岡造形大学 造形学部 【デザイン学科】 製品デザイン/テキスタイルデザ イン/ファッションデザイン/映像 /写真/グラフィックデザイン/イ ラストレーション/ UI/UXデザイ ン/ Web・アプリ/メディアアート
長岡工業高等専門学校 機械工学科 力学解析/設計・加工/材料科学/計 測・制御・熱・流体/情報/電気・電子	長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 コンピュータ・情報系/電子システ ム系/パワーエネルギー系/電子 材料・デバイス系	長岡工業高等専門学校 物質工学科 材料工学コース/生物応用コース	長岡造形大学 造形学部 【建築・環境デザイン学科】 都市計画・まちづくり/ ランドスケープ	長岡工業高等専門学校 物質工学科 材料工学コース/生物応用コース		長岡造形大学 造形学部 【デザイン学科】 UI/UXデザイン/ Web・アプリ	大学院造形研究科 【プロダクトデザイン領域】 【視覚デザイン領域】 【建築・環境デザイン領域】 【イノベーションデザイン領域】
専攻科 【電子機械システム工学専攻】 より高度な力学/機械材料・設計/ 加工/計測・制御/エレクトロニクス/ メカトロニクス/情報・ICT	電子制御工学科 計測系/制御系/メカニクス系/ 電気・電子系/計算機系	専攻科 【物質工学専攻】 より高度な分析化学/無機化学/ 有機化学/材料化学/化学工学/ 物理化学/生物化学	大学院造形研究科 【建築・環境デザイン領域】	専攻科 【物質工学専攻】 より高度な分析化学/無機化学/ 有機化学/材料化学/化学工学/ 物理化学/生物化学		大学院造形研究科 【視覚デザイン領域】	
エネルギー系	システム安全系	建築系	長岡工業高等専門学校	経済・経営系	教育系(教員免許取得)		アート系
長岡技術科学大学 大学院 【技術科学イノベーション専攻】 エネルギー工学	長岡技術科学大学 大学院 【工学専攻(量子・原子力統合工学 分野)】 原子力安全/原子力技術/量子・放 射線	長岡造形大学 造形学部 【建築・環境デザイン学科】 建築/都市計画・まちづくり/ インテリア/ランドスケープ/ 文化財保存・活用	環境都市工学科 構造/材料/河川・海岸/地盤・土質/ 環境/都市計画	長岡技術科学大学 工学部・大学院 【工学課程・工学専攻(情報・経営 システム工学分野)】 マネジメントシステム	長岡技術科学大学 工学部 【工学課程】 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(工業)	長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 コンピュータ・情報系	長岡造形大学 造形学部 【美術・工芸学科】 美術(絵画・版画・彫刻)/クラフトデ ザイン(彫金・鍛金・鍍金・ガラス)
【先端工学専攻(エネルギー工学分野)】	【システム安全工学専攻】 安全認証/安全規格・設計/安全管理	大学院造形研究科 【建築・環境デザイン領域】	材料/環境/都市計画/防災	長岡大学 経済経営学部 【経済経営学科】 経済コース/経営コース/マーケ ティングコース/会計コース/情報 コース	大学院 【工学専攻】 高等学校教諭専修免許状(工業)	電子制御工学科 制御系/計算機系	大学院造形研究科 【美術・工芸領域】
						専攻科 【電子機械システム工学専攻】 より高度な力学/機械材料・設計/ 加工/計測・制御/エレクトロニクス/ メカトロニクス/情報・ICT	

※2023年4月現在の情報です



長岡
技術科学大学

長岡市上富岡町 1603-1



長岡造形大学

長岡市千秋 4-197



長岡大学

長岡市御山町 80-8



長岡崇徳大学

長岡市深沢町 2278-8



長岡工業
高等専門学校

長岡市西片貝町 888



交流拠点

ナデックベース

NaDeC BASE

NaDeC BASEは、NaDeC構想に参加する団体の学生が利用できる場所です。大学連携や産学連携を進めるオープンコラボスペース、打ち合わせ場所、またイベント会場等で広く利用されています。

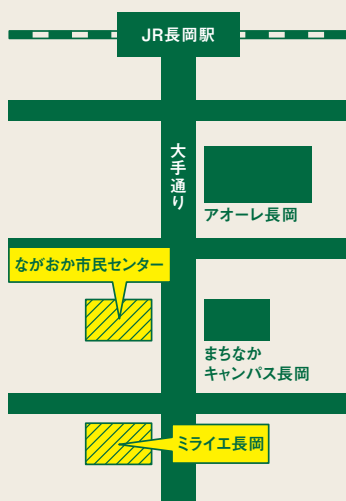
2023年7月には、次世代を担う若者や起業家など、幅広い世代が集い、交流する場としてオープンする「米百俵プレイス ミライエ長岡」の5Fに移転します。同フロアには、コワーキング機能を持った会員制のサロンスペースや3Dプリンターやレーザーカッターが使えるものづくりラボ、授業やイベントを開けるスタジオ、大学・高専や企業の研究を見学できるギャラリーラボが整備されます。



▲米百俵プレイス ミライエ長岡完成イメージ



◀ www.nadec-base.jp



2023年6月まで

長岡市大手通2丁目2番地6
ながおか市民センター地下1階

平日 AM9:00-PM7:00
土日祝 AM9:30-PM6:00
休館日 年末年始(12月29～1月3日)
他建物メンテナンス等で休館になる場合もあります。
TEL 070-4031-0881

2023年7月22日にミライエ長岡に移転

長岡市大手通2丁目3番地10
米百俵プレイス ミライエ長岡5階

平日・土 AM9:00-PM9:00
日・祝 AM9:30-PM6:00
休館日 毎月第2週木曜日、毎月月末
(土日の場合は翌月曜)、
年末年始(12月29～1月3日)



◀ <https://miraie-nagaoka.jp>

イベントなど最新情報はSNSで



facebook
@nadecbase



Twitter
@NadecBase



Instagram
@nadecbase